

## 提案趣旨説明書

### < 作品タイトル >

“働くママ”なら真駒内

### < 提案の趣旨 >

#### ① コンセプトの背景：

今回の我々の提案は、真駒内を生き生きとした活気のある街に再生させる事です。

駅前地区は立地条件を生かし生活の基盤となるハード面を中心に、南区全体としては自然や芸術を利用し、多くの観光客を真駒内に取り込む為のソフトな面を中心に考えました。

#### ◆駅前地区の工夫◆

#### ② 働くママの環境整備：

スポットを当てたのは“ママ”でした。家族の中心人物であり、影の大黒柱。そんな家庭のママが現代の社会では必要で、ママ自身も働きたいのですが、環境（ママが働ける環境ではない）が邪魔をして働けない事実がありました。我々は実際に何が障害となり、何が行われれば解消されるかを、各方面の情報やメディア、自身の妻や友達から情報を集め、今回の提案の一部とさせて頂きました。

また、ママを中心に考えた背景には、ママが元気であれば家族も元気になり、そんな家族が暮らす街はとても住みやすく、また住んでみたい街なのでしょう。そんな街に人は集まり、便利さや自然・芸術が集まっている事でより魅力のある街作りが出来ると考えたからです。さらに、ママが求めているものは、ただ働くだけの労働者ではなく、女性だからこそその御洒落を求めています。職場や買い物をする上での利便性だけでなく機能的な提案も行います。

#### ③ 仕事も育児も cool なパパ：

住みやすい街の前提には、住んでいる家族のすべての幸せが必要不可欠です。

ママを取り巻く環境において、パパも元気で働きやすい街になっていなくてはなりません。インターネットが普及する今日、駅前のゾーンに企業が集まり、サテライトオフィスを造ります。そうする事で、遠くで仕事をしていたパパが身近で仕事をし、いざとなれば駅前の立地を生かし札幌市内へ通勤が出来る事になります。つまりはマルチハビテーションの実現です。また、子供やママ達と近くの場所で仕事が出来るといってお互いの安心感が生まれ、更には企業の集まる交流ゾーンでの新たなビジネスチャンスにも発展できる可能性が広がります。

#### ④ 大活躍のおじいちゃんとおばあちゃん：

ママを支える次のキーパーソンは団塊の世代です。高齢化が進む真駒内において、団塊の世代の退職者が多くいる事が解ります。しかしながら現在の60代、70代の世代はまだまだ元気で、ボランティア精神に溢れています。そんな団塊の世代に保育を手伝ってもらえるのはどうでしょうか？小さな子供と遊ぶことで、ママは助かり、自らは元気という最高のエネルギーを貰う。相互の力を街の中で助け合い、良いサイクルが循環することで笑顔あふれる明るい未来が待っています。経済的な工夫も少し加え、正のスパイラル効果を生み出す提案を考えました。

#### ⑤ 経済的に自立する真駒内の新たな提案：

真駒内が経済的に自立する為に、技術開発の目覚ましいソーラーパネルに着目致しました。リニューアルされた真駒内小・中学校の屋上にソーラーパネルを設置した場合の、建設コスト、維持コスト、発電効率による収益、を計算し、償却期間、その後の収益をご紹介します。エコエネルギーは投資ではなく、利益や生活を支える主要な手段になりつつあります。蓄電技術を導入することで、自前の電力で常時も災害時も賄える冗長性の高い街を提案することができます。

#### ◆自然と芸術の工夫◆

#### ⑥ 真駒内地域全体を道の駅に

南区には滝野すずらん丘陵公園や札幌芸術の森など、自然と芸術を生かした観光スポットが数多くあります。これらの訪問者を真駒内に呼び込むことは真駒内地域に大きな経済効果を生みだします。交通結節点である真駒内において自家用車は必需品。観光客を取り込むため、観光地の真駒内側に「道の駅」が無いことを課題と捉えました。

わたしたちは、観光客が真駒内に立ち寄る仕組みを提案します。つまり“真駒内地区の道の駅化”です。アーケード沿いに駐車場を作り、真駒内で食事をして帰る。または、真駒内で食材（ブランド野菜）を買ってから公園（バーベキュー）に行く。真駒内と観光スポットが連携することで、“にぎわい”を取組む工夫を提案します。

実現まで約4年。4年後、真駒内ににぎわいを取り戻します！

以上

表1 提案内容の実現スケジュール

実施工程表	1年目	2年目	3年目	4年目
計画・設計	●	●		
駐車場設置		●	●	●
観光地との連携		●	●	●
小学校バレーン	●	●	●	●
ソーラーパネル設置			●	●
アーケード設置		●	●	●
企業誘致	●	●	●	●